

京丹後市指定文化財 新たに3件を指定

平遺跡出土遺物 大谷古墳石棺及び出土遺物 大宮神社神像

平成18年3月20日

京丹後市役所

京丹後市文化財保護条例の規定に基づき、京丹後市文化財保護審議会の答申を受けて、京丹後市教育委員会で議決され、京丹後市指定文化財として新たに3件（平遺跡出土遺物・大谷古墳石棺及び出土遺物・大宮神社神像）を指定しました。

これにより合計、国指定・京都府指定を合わせて160件となりました。

■国指定文化財13件	■国登録文化財5件	
■京都府指定文化財33件	■京都府登録文化財18件	
■京丹後市指定文化財91件		合計160件

平遺跡出土遺物

名称	平遺跡出土遺物		
所有	京丹後市		
員数	考古資料（平成8年度発掘分）	一括	
文化財種別	考古資料		

平遺跡は丹後町平の宇川河口左岸に位置する縄文前期から晩期の縄文時代の跡であり、中期の土器は平式土器として近畿地方における代表的なものである。平成8年度に京都府埋蔵文化財調査研究センターが発掘調査し古墳時代の遺物を含めた多量の縄文土器、石器が出土した。その資料を一括で指定する。

大谷古墳石棺及び出土遺物

名称	大谷古墳石棺及び出土遺物		
所有	京丹後市		
員数	石棺	一基	
	考古資料	一括	
文化財種別	考古資料		

大谷古墳は、大宮町谷内に位置した全長32mの古墳時代中期の古墳であり昭和61年に発掘調査され、石棺内部から女性人骨、鏡、剣、玉が出土した。古墳時代中期の女性首長の墓でありその出土資料を一括で指定する。

大宮神社神像

名	称	大宮神社神像
所	有	宗教法人 大宮神社
員	数	四 軀
文化財種別		彫刻

大宮神社は、弥栄町野中にある神社で、正慶元年（1332）に創祀されたと伝えられる

祭神は大宮売神である。鎌倉時代の神像が四軀伝えられており価値が高く指定する。